

124 こころと身体健康対策の推進

12401 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課)

主な取組内容

- 1 質の高い健康文化を築き、住民がいいきと生活できる「健康長寿地域・伊賀」を目指して、健康づくり活動の協働体制に向けた働きかけを積極的に行っていきます。
- 2 市をはじめ、企業、団体等と協働して、食生活、たばこ、運動、こころの健康づくり、歯科保健対策等生活習慣の改善に向けて、県民の健康づくりを支援します。
- 3 野菜摂取量の増加と朝食習慣の定着と朝食における野菜の摂取を推進し、県民が健康的な食生活が実践できるよう支援します。
- 4 給食施設指導を充実し、県民が適正な食生活を営む力をつけることを支援します。
- 5 みえの食生活指針・食事バランスガイドの普及啓発を広く県民に行うとともに、多様な主体と協働した食環境づくりを推進します。

1 健康づくり総合推進事業

地域や企業、関係団体及び関係機関が集い情報交換をおこなうとともに、専門的な知識や情報の共有を通して地域の健康課題の解決を図るため懇話会等を開催した。

(1) いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会

日時	場所	委員出席者数	内容
平成 27 年 9 月 3 日	県伊賀庁舎 中会議室	16 名	① 情報提供 ・三重県における自殺の現状と対策、こころのケアガイドブックについて ・労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック制度の導入について 提供者 伊賀労働基準監督署 安全専門官 ② 意見交換 ・健康づくり事業の取組について

(2) 研修会

日時	場所	参加者数	内容
平成 27 年 12 月 4 日	県伊賀庁舎 大会議室	59 名	講演「食品のうま味と減塩について ～無理なく減塩しよう～」 講師:特定非営利法人うまみインフォメーションセンター 理事 二宮 くみ子 氏

(3) 情報交換会

日時	場所	参加者数	内容
平成 28 年 2 月 4 日	県伊賀庁舎 中会議室	8 名	①講演「ストレスチェック制度とは」 ②情報交換「各事業所におけるストレスチェック制度の取組実施状況について」 講師:三重県産業保健センター メンタルヘルス対策促進員・産業保健相談員 河合加代子氏

2 健康食育推進事業

(1) 野菜フル 350 推進事業

県民が健康的な食生活が実践できるように 1 日の野菜摂取量の目標量を 350g(食事バランスガイドで副菜 5 つ)として野菜摂取の増加を推進する。同時に、健康的な朝食習慣の定着化を図るため朝食における野菜摂取量の目標量を 70g(食事バランスガイドで副菜 1 つ)を推進するためにセミナー、啓発を実施した。

ア セミナー

開催日等	開催場所	対象団体	人数	内容
平成 27 年 11 月 17 日	県伊賀庁舎 栄養指導室	食品衛生協会 調理師部会	15 名	講義「野菜・果物の魅力と健康の関わり ～知らないで食べるより知って食べる～」 デモンストレーション 「バランスよく食べましょう ～1 日 350g を目指して～」 講師 シニア野菜ソムリエ 中澤 真紀 氏

イ 協働啓発活動

開催日	イベント名	対象者	人数	実施場所
平成 27 年 10 月 5 日	COOPみえ 2015 商品・ くらしの活動交流会	COOP会員	92 名	上野フレックスホテル
平成 27 年 10 月 12 日	名張市体育・健康フェスタ	地域住民	150 名	名張市総合体育館

(2) 健康づくり応援の店

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店を「健康づくり応援の店」として登録し、県民の健康づくりを支援する。

平成 28 年 3 月 31 日現在 13 店舗

3 栄養施行事務事業

(1) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行規則に基づき、給食施設の把握、給食施設における栄養管理・食育の充実に向けた指導助言等を行った。

ア 給食施設従事者研修会

開催日	開催場所	対象者	人数	内容
平成 27 年 12 月 4 日	県伊賀庁舎 大会議室	管内給食施設従事者	59 名	講演「食品のうま味と減塩について ～無理なく減塩しよう～」 情報交換

イ 特定給食施設等巡回指導

	巡回指導施設数	備考
特定給食施設	14	指定施設 2 を含む
一般給食施設	17	
計	31	

(2) 栄養表示指導

食品表示法に基づく食品表示基準(保健事項)、健康増進法第 31 条の 1 に基づく虚偽誇大広告の禁止に関する相談や指導・助言を行った。

内容	対象者	件数
栄養成分表示、虚偽誇大広告相談・指導	事業者等	17 件

(3) 人材育成・支援

地域で活動する市民団体や食に関係する職域の専門職種、食育関係者等に対して研修や情報発信等を行うことにより、地域リーダーの育成と活動の活性化に向けた支援を行った。

ア 地区組織育成・支援

食生活改善推進員の育成に対する支援、組織活動に対する育成・支援を行った。

種別	対象者	内容	回数
総会・研修会	伊賀市食生活改善推進員	研修会等運営支援及び災害時の栄養・食生活支援活動について	1 回
リーダー研修会	伊賀地区食生活改善推進員	実習献立指導及び情報提供 等	9 回
木の芽会研修	木の芽会会員	実習献立指導及び緊急時に備えた家庭用食料品備蓄について 等	5 回

イ 専門職種への支援

	内容	実施回数
市栄養士	・研修会	3回
	・管理栄養士臨地実習について助言・協働	1回
	・食生活改善推進員養成講座支援	3回
地域活動栄養士	・研修会 ・栄養・健康づくりに関する情報提供及び 啓発媒体等の提供	3回 随時

(4) 栄養相談・指導

健康増進法第18条に基づく栄養相談・指導を実施した。

	個別指導延べ人数			集団指導延べ人数	
	栄養指導	(再掲) 病態別	(再掲) 訪問による	栄養指導	(再掲) 病態別
妊産婦	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳以上	1	1	0	144	118

(5) 国民健康・栄養調査

該当なし



フェアリーベジ(野菜の妖精)があなたの食生活を応援します！

12403 こころの健康づくりの推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

主な取組内容

- 1 自殺予防を含めたこころの健康問題についての正しい理解の普及啓発をはかり、関係機関と連携をはかりながら共に支えあい安心して生活できる地域づくりを目指します。
- 2 市が実施するこころの健康づくり対策の側面的支援を行い、市におけるメンタルヘルス事業の推進をはかります。

1 こころの健康づくり事業

(1) こころの健康づくりに関する啓発

企業のイベント及び市が開催する健康まつりに参加し、保健所ブースでこころの健康づくりに関する啓発を実施した。

開催日	平成 27 年 10 月 12 日	平成 27 年 10 月 5 日
場 所	名張市総合体育館	上野フレックスホテル
内 容	パネル展示、各種パンフレット・啓発グッズ配布	
来場者	約 150 名	92 名

2 自殺予防対策

自殺が個人的な問題としてのみ捉えられるものではなく、その背景には、様々な社会的要因があることをふまえ、市民や関係機関に対して命の大切さについて理解を深めることや、自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及・啓発を行い、地域での自殺予防対策の取り組みについて説明した。

(1) 自殺予防に関する啓発事業

- ア 管内課長会議でこころの健康づくり、自殺予防対策について説明
 - イ 管内保健師業務連絡会議で県の自殺予防対策の取り組みについて説明
- 市民への自殺予防の啓発

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間の啓発
- ・庁舎内で「自殺予防週間」、「自殺対策強化月間」にのぼりを立て、啓発グッズを配布
- ・伊賀保健所HPに関連記事を掲載
- ・街頭啓発

	日時	場所	内容
自殺予防週間	平成 27 年 9 月 11 日 7:30~8:30	伊賀鉄道上野市駅周辺	「自殺予防週間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
	平成 27 年 9 月 10 日 7:30~8:30	近鉄名張駅周辺	
自殺対策強化月間	平成 28 年 3 月 1 日 11:30~	アピタ伊賀上野店	「自殺対策強化月間」ののぼり旗を立て、啓発グッズを配布 自殺予防の声かけ (伊賀市・名張市と共催)
	平成 28 年 2 月 29 日 11:45~	アピタ名張店	
		マックスバリュ名張店	

(2) 人材育成

メンタルパートナー養成

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人、悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人を養成する。

研修内容		参加者数
メンタルパートナー指導者養成研修		1名
メンタルパートナー養成研修(伊賀管内)		235名
メンタルパートナー養成研修 開催主体別	伊賀市	170名
	名張市	17名
	伊賀保健所	48名
	その他	0名

(3) 地域自殺・うつ対策ネットワーク

質の高い健康文化を築き、住民がいいきと生活できる長寿地域・伊賀を目指して、いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会を設置しており、こころの健康づくり・自殺対策を推進していく。

いがの国健康づくり地域・職域連携推進懇話会(自殺対策ネットワーク会議)開催状況

開催日	内容	参加者
H27. 7. 10 (木) 15:00～	第1回懇話会 委員紹介 (情報提供) 「三重県における自殺の現状と対策、こころのケアガイドブックについて」 こころ健康センター課長代理 中井 芳 氏 「労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック制度の導入について」 伊賀労働基準監督署安全専門官 平田幸弘 氏 健康に関する最近の話題 (意見交換) 健康づくり事業の取組について	懇話会委員 16名 保健所等職員 5名 情報提供者 1名 計 22名
H28. 2. 4 (木) 14:00～	第2回いがの国健康づくり地域・職域情報交換会 (講演)「ストレスチェック制度とは」 講師：三重産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 産業保健相談員 河合加代子 氏 (情報交換) 「各事業所におけるストレスチェック制度の取組実施状況について」	地域・職域健康づくり 担当者 12名

(4) 自殺未遂者支援モデル事業

救急医療機関に搬送された自殺未遂者に対し、様々な機関が連携した適切な支援を図ることにより、自殺再企図を防止する支援体制づくりを平成27年度からモデル的に取り組んでいます

ア 保健所の役割

・三重県健康づくり課が開催する「未遂者支援検討会」に参加し、事業開始に向けた保健所の現状等情報提供や課題の抽出等を行う。

・救急医療機関から連絡を受けた伊賀保健所は、地域におけるケースの支援方針の検討及びコンサルテーションを行うため、必要に応じてケースへの面接を行い、関係機関・団体等と密接な連携を図る。ケースの支援方針の検討及びコンサルテーションを行う場合は、ケア会議とし伊賀保健所が企画開催する。また、支援結果等についてもケア会議等で情報共有する。

・自殺対策情報センターが、企画実施する関係機関職員のスキル向上のための研修会等に参加する。

・自殺未遂者支援モデル事業の検証を行うため、「未遂者支援検討会」に参加し、モデル事業の継続・中止又は他地域への拡大について検討を行う。

イ 救急医療機関から連絡を受けた件数 2 件

(5) その他

ア 精神保健相談(毎月第4水曜日) 相談件数: 19 件(実人数 19 件)

イ 自殺・うつ関係相談(随時)面接相談 2 件(実人員 1 件)

電話相談 5 件(実人員 5 件)

ウ 関係機関との連絡調整

① 管内保健福祉課・室長会議で自殺予防対策について説明(H27.5.21)

② 伊賀管内保健師業務連絡会、自殺予防週間、自殺対策強化月間における情報交換で事業実施を調整

12404 難病対策の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課・地域保健課・衛生指導課)

主な取組内容

- 1 原子爆弾被爆者の健康管理や各種手当の支給等を実施します。
- 2 難病患者およびその家族の QOL(生活の質)の向上をはかります。
- 3 県民に臓器移植に対する理解と協力を求めるため、啓発事業を行います。
- 4 休日ドナー登録をはじめとする骨髄バンク普及啓発およびドナー登録の推進をはかり、新規ドナー登録者の確保に努めます。

1 原子爆弾被爆者対策事業

原子爆弾被爆者の援護に関する法律に基づき、被爆者健康手帳所持者の健康管理のため、年2回の定期健康診断及び希望者に対してがん検診を実施した。

また、同法に基づく各種手当を対象者に支給した。

(1) 被爆者健康手帳所持者 48人 平成28年3月31日現在

	伊賀市	名張市
所持者数	14	34

(2) 被爆者健康診断受診状況

ア 定期健康診断受診者数

第1回 18人 (うち要精検者数 0人)

第2回 15人 (うち要精検者数 3人)

イ がん検診受診者数

平成27年度

	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性 骨髄腫	大腸がん
受診者数	3	2	1	1	1	2
要精検者数	0	0	0	0	0	1

(3) 各種手当受給状況

平成28年3月31日現在

	医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当 (一般)	保健手当 (増額)	介護手当	家族介護 手当	葬祭料
支給対象者数	2	41	0	1	0	1	3

2 難病対策事業

(1) 難病法に基づく特定医療費の支給事業

平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が施行され、平成27年7月1日からは指定難病が306に拡大され、認定基準を満たした申請者に特定医療費(指定難病)受給者証を交付した。

特定医療費(指定難病)受給者数

平成27年度(平成28年3月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	球脊髄性筋萎縮症	1	0	1
2	筋萎縮性側索硬化症	9	7	16
3	脊髄性筋萎縮症	0	0	0
4	原発性側索硬化症	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	9	9	18
6	パーキンソン病	87	135	222
7	大脳皮質基底核変性症	7	9	16
8	ハンチントン病	1	0	1
9	神経有棘赤血球症	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	1	1
11	重症筋無力症	10	19	29
12	先天性筋無力症候群	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	7	21	28
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	2	4
15	封入体筋炎	1	0	1
16	クロー・深瀬症候群	0	1	1
17	多系統萎縮症	13	6	19
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	15	16	31
19	ライゾゾーム病	1	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0
21	ミトコンドリア病	0	1	1
22	もやもや病	4	24	28
23	プリオン病	0	4	4
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	1	1
27	特発性基底核石灰化症	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	5	7	12
29	ウルリッヒ病	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
30	遠位型ミオパチー	0	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0
34	神経線維腫症	5	1	6
35	天疱瘡	5	4	9
36	表皮水疱症	0	0	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	1	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	1	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0
40	高安動脈炎	1	9	10
41	巨細胞性動脈炎	0	0	0
42	結節性多発動脈炎	1	4	5
43	顕微鏡的多発血管炎	8	8	16
44	多発血管炎性肉芽腫症	0	2	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1	0	1
46	悪性関節リウマチ	0	4	4
47	バージャー病	10	1	11
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	0	0
49	全身性エリテマトーデス	14	66	80
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	15	23	38
51	全身性強皮症	9	66	75
52	混合性結合組織病	0	14	14
53	シェーグレン症候群	0	19	19
54	成人スチル病	0	1	1
55	再発性多発軟骨炎	2	0	2
56	ベーチェット病	13	9	22
57	特発性拡張型心筋症	47	12	59
58	肥大型心筋症	7	6	13
59	拘束型心筋症	0	0	0
60	再生不良性貧血	8	8	16
61	自己免疫性溶血性貧血	0	0	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0	0	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	14	34	48
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	1
65	原発性免疫不全症候群	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
66	IgA腎症	6	9	15
67	多発性嚢胞腎	3	3	6
68	黄色靱帯骨化症	4	3	7
69	後縦靱帯骨化症	32	18	50
70	広範脊柱管狭窄症	9	6	15
71	特発性大腿骨頭壊死症	10	5	15
72	下垂体性ADH分泌異常症	2	1	3
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	4	5	9
75	クッシング病	0	2	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5	6	11
78	下垂体前葉機能低下症	14	7	21
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0	0	0
82	先天性副腎低形成症	0	0	0
83	アジソン病	0	0	0
84	サルコイドーシス	11	16	27
85	特発性間質性肺炎	6	5	11
86	肺動脈性肺高血圧症	2	6	8
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2	6	8
89	リンパ脈管筋腫症	0	1	1
90	網膜色素変性症	14	22	36
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	0	1	1
93	原発性胆汁性肝硬変	6	31	37
94	原発性硬化性胆管炎	0	0	0
95	自己免疫性肝炎	1	1	2
96	クローン病	29	18	47
97	潰瘍性大腸炎	111	98	209
98	好酸球性消化管疾患	0	0	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0
103	CFC症候群	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0
105	チャージ症候群	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0	0	0
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0
111	先天性ミオパチー	0	0	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0
113	筋ジストロフィー	1	2	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0
117	脊髄空洞症	0	0	0
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0
126	ペリー症候群	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	0	0	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
137	限局性皮質異形成	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0
145	ウエスト症候群	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0
158	結節性硬化症	0	0	0
159	色素性乾皮症	0	0	0
160	先天性魚鱗癬	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	0	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1	0	1
163	特発性後天性全身性無汗症	0	0	0
164	眼皮膚白皮症	0	0	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0
167	マルファン症候群	0	1	1
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0
170	オキシピタル・ホーン症候群	0	0	0
171	ウィルソン病	0	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
173	VATER 症候群	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0
180	ATR-X症候群	0	0	0
181	クルーゾン症候群	0	0	0
182	アペール症候群	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0
188	多脾症候群	0	1	1
189	無脾症候群	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0
199	5p 欠失症候群	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	0	0	0
204	エマヌエル症候群	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0
206	脆弱 X 症候群	0	0	0
207	総動脈幹遺残症	0	0	0
208	修正大血管転位症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
209	完全大血管転位症	0	0	0
210	単心室症	0	0	0
211	左心低形成症候群	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0
215	ファロー四徴症	0	1	1
216	両大血管右室起始症	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	0	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	3	0	3
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	0
224	紫斑病性腎炎	0	0	0
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	1	1
227	オスラー病	0	0	0
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	0	0
230	肺胞低換気症候群	0	0	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	0	0	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	0	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	0	0	0
241	高チロシン血症 1 型	0	0	0
242	高チロシン血症 2 型	0	0	0
243	高チロシン血症 3 型	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
245	プロピオン酸血症	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0
247	イソ吉草酸血症	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0	0	0
249	グルタル酸血症 1 型	0	0	0
250	グルタル酸血症 2 型	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0
264	無 β リポタンパク血症	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0
266	家族性地中海熱	0	0	0
267	高IgD症候群	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0
271	強直性脊椎炎	1	0	1
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0
274	骨形成不全症	0	0	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0

番号	疾病名	男	女	合計
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0
283	後天性赤芽球癆	0	0	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0
285	ファンconi貧血	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0
288	自己免疫性出血病 XIII	0	0	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0
296	胆道閉鎖症	0	0	0
297	アラジール症候群	0	0	0
298	遺伝性膵炎	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0
300	IgG4関連疾患	0	1	1
301	黄斑ジストロフィー	0	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0
303	アッシャー症候群	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	3	6	9
総計		615	839	1,454

(2) 特定疾患治療研究事業

難病法の施行前に特定疾患治療研究事業で対象とされていた特定疾患のうち、難病法に基づく特定医療費の支給対象となる指定難病以外の疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、その医療費も高額であるため、申請により特定疾患医療受給者証を交付した。

特定疾患医療受給者数

平成27年度(平成28年3月末現在)

番号	疾病名	男	女	合計
1	スモン	0	2	2
2	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0	0	0
3	重症急性膵炎	0	0	0
4	プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0	0	0
5	重症多形滲出性紅斑(急性期)	0	0	0
総計		0	2	2

(3) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

先天性血液凝固因子欠乏症として指定された 11 疾患について、医療費を助成し、治療の促進を図るため、申請により先天性血液凝固因子障害等医療受給者証を交付した。

疾患名		受給者証交付件数
1	第Ⅰ因子(フィブリノゲン)欠乏症	0
2	第Ⅱ因子(プロトロンビン)欠乏症	0
3	第Ⅴ因子(不安定因子)欠乏症	0
4	第Ⅶ因子(安定因子)欠乏症	0
5	第Ⅷ因子欠乏症(血友病A)	2
6	第Ⅸ因子欠乏症(血友病B)	1
7	第Ⅹ因子(スチュアートプラウア因子)欠乏症	0
8	第ⅩⅢ因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	0
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブランド)病	2
10	第ⅩⅠ因子(PTA)欠乏症	0
11	第ⅩⅡ因子(ヘイグマン因子)欠乏症	0

(4) 肝炎治療特別促進事業

B 型、C 型ウィルス性肝炎インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療の医療費を助成することで、早期治療を促進し、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウィルスの感染防止をする。

公費負担医療受給状況:平成 27 年度中

B 型肝炎 88 件(新規 13 件、更新 75 件)

C 型肝炎 166 件(インターフェロンフリー治療 163 件、インターフェロン治療 3 件)

3 難病在宅ケア事業

管内における患者の実態を明らかにし、個別ケアを中心とした支援活動を充実させながら、在宅ケアを支えていくための医療・保健・福祉を包括したネットワークづくりを目指して各種事業を実施した。

(1) 難病地域ケア会議（実務者）

在宅難病患者を取り巻く関係者がネットワークを構築することにより、包括的な支援が提供できるようケア会議への参加を行った。

ALS：筋萎縮性側索硬化症

開催年月日 病名・場所	参加者	検討内容
H27. 4. 8 ALS (自宅)	ケアマネジャー、訪問看護師、作業療法士、福祉用具業者、家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 4. 30 ALS (自宅)	ケアマネジャー、作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 5. 13 ALS (自宅)	訪問看護師、本人・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 5. 22 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 5. 28 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、呼び出しベルの導入
H27. 6. 10 ALS (自宅)	患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 8. 13 ALS (自宅)	ケアマネジャー、本人・家族、保健所保健師	家族の介護負担軽減、レスパイト入院について

H27. 9. 3 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、使用上の問題点について検討
H27. 10. 29 ALS (自宅)	訪問看護師、理学療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について紹介、今後の使用について検討
H27. 10. 29 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、CTF松阪、保健所保健師	意思伝達装置サポート事業について、呼び出しベルの導入
H28. 1. 26 ALS (自宅)	作業療法士、患者・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有

(2) 個別ケアの充実

ア 電話相談・面接相談

申請時手続きの来所者などを対象に面接を実施し、患者家族からの在宅療養上の相談に対応した。必要な人に対して電話相談、面接相談、訪問などを実施するとともに、関係機関につなげた。また特定医療費申請手続き等に関する相談に対応した。

イ 家庭訪問

ALS 患者の全数把握や家族、その他関係機関から依頼のあったケースを中心に家庭訪問を実施し、関係機関と連携して課題の改善のための支援を行った。

疾患別家庭訪問実施状況

疾患名	訪問件数
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	実6件／延11件
合計	実6件／延11件

(3) 訪問療養相談

療養上の相談を受けることが困難な在宅療養患者及び家族に対し、療養生活が適切に行われるよう、管理栄養士による専門的な栄養相談を実施した。

訪問療養相談実施状況

開催月日	平成27年11月26日 (木)	平成28年3月16日 (水)
対象者	ALSの患者と家族	ALSの患者と家族
スタッフ	管理栄養士・保健師	言語聴覚士・作業療法士・訪問看護師・ケアマネジャー・保健師

(4) 事例検討・研修会等

管内の関係機関・支援者が個別ケアについて情報共有を行うため、また患者を取り巻く関係者のネットワーク化をはかるために事例検討（支援会議）及び研修会を実施した。

ア 事例検討（支援会議）

開催年月日 病名・場所	参加者	検討内容
H27. 4. 10 ALS (病院)	ケアマネジャー、訪問看護師、理学療法士、医師、看護師長、受け持ち看護師、相談員、家族、保健所保健師	情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 5. 27 ALS (病院)	ケアマネジャー、医師、看護師長、受け持ち看護師、相談員、本人・家族、保健所保健師	手術の経過確認、情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 8. 14 ALS (病院)	訪問看護師、医師、受け持ち看護師、患者・家族、市保健師、保健所保健師	手術の経過確認、情報交換、今後のサポート体制の統一
H27. 9. 4 ALS (病院)	訪問看護師、ケアマネジャー、本人・家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 9. 7 ALS (病院)	医師、看護師、家族、保健所保健師	療養生活上の問題点、今後の方向性について情報の共有
H27. 12. 18 ALS (病院)	訪問看護師、ケアマネジャー、医師、看護師長、受け持ち看護師、家族、保健所保健師	入院中の経過確認、情報交換、療養生活上の問題点、今後のサポート体制の統一

イ 研修会

月 日 場 所	内 容	参 加 者
H28. 2. 2 県伊賀庁舎 大会議室	講演 テーマ：難病患者のより良い在宅生活を支援するために 講義・演習「いま話題の食支援について」 講師 いが地域栄養ネットワーク代表 千歳泰子 氏	72人 伊賀管内のケアマネジ ャー、訪問看護師、ヘル パー、介護施設職員など 在宅支援関係者

(5) その他

ALS の患者家族から、同じ疾患の患者や家族から話を聞きたいとの要望があり、患者会や難病相談支援センターの紹介を行った。

4 臓器移植啓発事業

臓器提供に関する正しい知識の普及啓発を行い、臓器提供意思表示カードの推進を図っている。

(1) 臓器提供意思表示カード配布窓口業務

伊賀保健所の窓口において、「いのちの贈りものあなたの意思で救える命」パンフレットと臓器提供意思表示カードの掲示・配布を行った。

5 ハンセン病啓発事業

ハンセン病について正しい知識と理解を持ち、偏見や差別のない、人権が尊重される社会を実現するための啓発を目的として、ホームページにおいて「ハンセン病問題を正しく理解しましょう」を掲載した。

街頭啓発等

実施日	内 容	来場者
平成 27 年 8 月 20 日	伊賀市みんなで元気まるごと！応援フェスタにて ハンセン病人権啓発コーナーの設置	233 名

6 骨髄バンク

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンクが円滑に実施されるよう、骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行い、骨髄提供希望者登録(ドナー登録)の推進を図った。

(1) 骨髄提供登録受付窓口業務

毎月第 2 木曜日に登録受付を実施し、1 名の登録があった。

(2) 臨時ドナー登録受付の実施

管内 6ヶ所の献血会場にて受付を実施した結果、26 名の登録があった。